

2017年度雪氷期における取り組み

－早めの冬道装備と降雪に関する事前情報の収集をお願いします－

今年も本格的な雪氷シーズンが到来しました。

中日本高速道路株式会社では、今年2月の新東名御殿場ジャンクションにおける通行止めをはじめ、降雪による通行止めによりお客さまにご迷惑をお掛けしたことから、雪氷対策の強化を図ります。

お客さまへの情報提供をさらに充実させるとともに、除雪作業の支障となる立ち往生車両を早期に発見するための監視設備の補強を行います。また、立ち往生車両の救援機械など雪氷機械の増強を行います。

冬用タイヤの未装着やタイヤチェーンの不携行による上り坂などでの登坂不能車両が、除雪作業の障害となり、通行止めに繋がる場合があります。

お客さまにおかれましては、早めの冬用タイヤ装着やタイヤチェーンの携行、さらには、お出かけ前には天気予報・交通状況をチェックのうえ、雪道での安全運転に心掛けていただきますようお願いいたします。

《2017年度雪氷期における主な取り組み》

- ① 気象予測を参考に降雪3日前程度から大雪に関する事前の情報提供を実施します【継続】
大雪の気象予測が発表された場合は、不要不急の外出を控え、無理のないドライブプランをお願いします。



《広域情報板による大雪情報の提供(過年度の事例)》

- ② i Highway、休憩施設で降雪状況のリアルタイム映像などを配信します【強化】
お出かけ前やお出かけ中に降雪状況を映像でご確認いただき、ドライブプランにお役立てください。また、i Highway においては、天候や降雪の予想及び雪氷作業状況もご確認頂けるようリニューアルいたしました。

別表1 i Highway によるライブ映像提供箇所一覧表

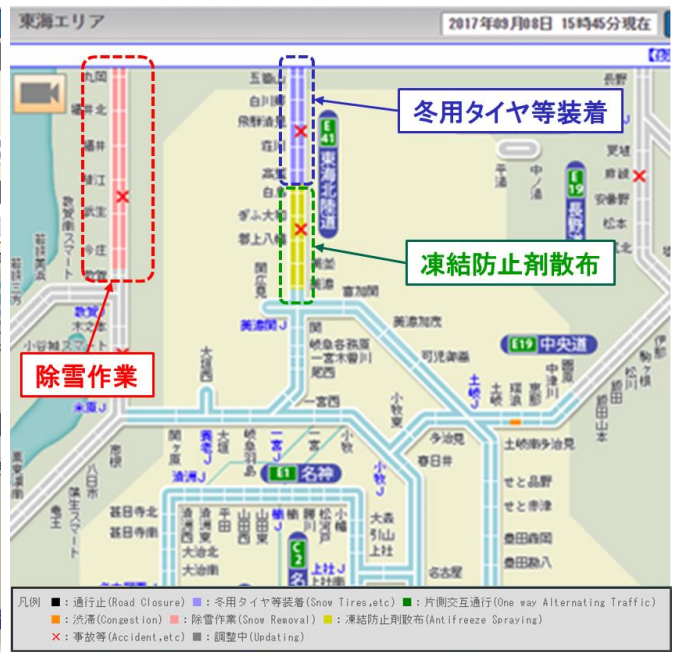
(56箇所、昨年度より1箇所追加し、弊社で把握する降雪地域の代表地点・気象変化点をカバーします)

別表2 休憩施設におけるリアルタイム映像の提供施設の一覧表

(71エリア、昨年度より1エリア追加し、旅行先の降雪状況映像を提供するエリアを拡大します)



≪ i Highway による 天候・降雪予想の提供例 ≫



≪ i Highway による 雪氷作業状況の提供例 ≫

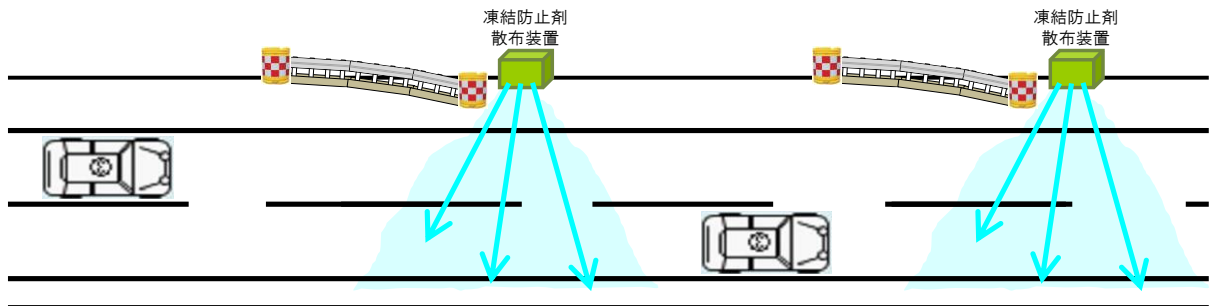
③ 監視設備及び立ち往生車両の救援機械を追加設置・配備します【強化】

過年度の降雪状況等を踏まえ、降雪地域の監視ポイントを補強し除雪作業の支障となる立ち往生車両の早期発見など現地状況の把握に繋がります。また、立ち往生した車両を速やかに救援するための機械（トラクターショベルやレッカー車）を当該箇所近傍の休憩施設などに事前配備します。

（監視設備：1,788基、昨年度より41基追加）（救援機械：165台、昨年度より17台追加）

④ 新東名御殿場ジャンクションの雪氷対策を強化します【強化】

今年2月の通行止め事象を踏まえ路温計や路面監視用照明などを追加設置し、当該箇所の監視を強化します。また、凍結防止剤散布装置を配置し気象急変時に備えます。



≪凍結防止剤散布のイメージ≫

⑤ その他

安全走行のための情報提供を実施します



≪雪道ドライブガイド（公式WEBサイト）≫



≪冬道走行に気をつけガイド≫



≪ノーマルタイヤでの積雪道路の運転は法令違反≫